

## 第2回 諏訪市ICT教育推進協議会記録

課所名

教育総務課

会議名 第2回 諏訪市ICT教育推進協議会

開催日時 令和4年8月23日(火) 午後16時00分～17時15分

開催場所 諏訪市役所 201会議室

出席者 会長:五味 康剛、副会長:伊藤靖徳 (敬称略)  
委員:三輪普一、宮尾昭広、河西一樹、飯野敏行、北川大貴、伊藤正敏、茅野純子、尾崎剛、神谷慎介  
事務局:細野教育次長、小林教育総務課長、森教育企画係長、藤森主任、岩波指導主事

資料 ◇配布資料  
No.1 諏訪市ICT推進協議会委員名簿  
No.2 前回協議会以降のICT教育に係る動向について  
No.3 ICT支援員の報告について  
No.4 プログラミング教育について  
No.5 デジタル教科書について

### 協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

1 開会(教育総務課長)

2 教育長あいさつ

3 協議

(1)前回協議会以降のICT教育に関わる動向について 【事務局より説明】(資料No2)

(2)ICT支援員の配置に関する報告について 【事務局より説明】(資料No3)

(3)プログラミング教育の進捗状況について 【事務局より説明】(資料No4)

(4)デジタル教科書の活用について 【事務局より説明】(資料No5)

(5)質疑・意見交換

○主な内容

【ICT支援員の配置に関する報告について】

- ・支援員の得手とする業務と学校が必要とする支援のマッチングが重要。支援員と学校がICTに係る課題を共有し、どのような支援・協力を必要とするか学校長と支援員が面談する機会の必要性がある。
- ・支援員の訪問日であってもICT担当教諭が学級をもっており、支援員と打合せすることができないことが課題である。

【プログラミング教育の進捗状況について】

- ・プログラミング学習に関して、小学校では、資料の調べ学習やグラフの作成、統計の分析などをスクラッチを使って学んで欲しい。中学校では、マイクロビットを使い、テキストコーディングとブロックコーディングの架け橋となればよいと思う。実はその二つの架け橋というのが教育工学会などでも課題となっているが、そのあたりを一緒に

研究していきたい。

#### 【デジタル教科書の活用について】

- ・デジタル教科書に関して、一部の教科で導入しているが、現状では機能などを見て、活用できるところから活用していく方針である。
- ・諏訪市の学校では、これから本格的に活用したいが、どのように活用すればいいかわからないといった声を聞く。市立学校以外での活用状況が参考になれば、その様子を見せていただくなどの機会があるとよい。
- ・諏訪市で構築されたネットワークはかなりのトラフィック量まで耐えうるのでネットワークが問題になるとすれば、デジタル教科書の本格稼働で外に出ていく通信が大量に発生した時でないか。

#### 【全般】

- ・教育が大きく変化しているが、子供たちが楽しく、興味を持って学校行けるようなシステムになっていけばありがたい。また、特別な支援が必要な子供たちにも配慮していただきたい。
- ・現在小学校で取り組んでいる地域公開講座で、スクラッチを使ったパズルを実践しているが、少し変わったことをできないか検討をしている。また中学校でのマイクロビットの取り組みに関する話があったが、将来的にはIoT機器みたいなどころまでもっていけたら諏訪の土地柄と非常にフィットするのではないか。また、長野高専ではとても素晴らしい教材を持っており、参考にはなるのではないかと思う。

#### 4 次回以降協議会の開催予定について

- ・11月22日(火)市役所

#### 5 その他

なし

#### 6 閉会

(17:15 終了)